

授業支援ツールとしての e-Learning システム

総合情報基盤センター 講師 上木 佐季子

必要な機能だけ利用すればいいのです！

本学では、e-Learning システムとして、MoodleやBlackboardといったネットワーク上の学習管理システムが利用できるようになっていきます(図1)。これらのシステムには、教材提示、レポートの受け取りや成績管理他、授業を支援する様々な便利な機能があります。しかし、その反面、初めて使う教員にとっては、これらの機能をすべて把握するのが難しいため、このシステムを授業に取り入れることに躊躇している先生もいらっしゃるようです。もっとも、学習管理システムを利用するにあたって、様々な機能をすべて使いこなす必要はありません。授業に必要な機能だけ利用すればいいのです。



図1 学習管理システム利用のイメージ図

授業のどの部分で利用できる？

まず、次に挙げた、学習管理システムの主な機能をご覧ください。

- ◆ 教材提示機能
- ◆ 課題提示・受取機能
- ◆ テスト・アンケート実施機能
- ◆ コミュニケーション機能
- ◆ 成績管理機能

次に、これらの機能を使うことによって、授業が効果的に展開される例を紹介します。

教材提示

オンライン上に授業教材を掲載することができます。学習管理システムの特定の授業用コース上での掲載ですので、その受講者のみに提示できます。授業前に掲載しておけば、学生はそれを閲覧し予習をすることができます。また授業中に各自閲覧が必要な資料の場合は、各学生に印刷・持参するよう指示も可能で、授業内容への動機づけにも繋がると考えられます。また、授業後に資料を掲載する場合においても、学生はいつでも必要な時に資料を閲覧することができます。パソコンで表示可能な資料であれば、すぐに掲載することができます。

課題提示・受取

オンライン上で、課題の提示・レポートの受取を行うことができます。オンライン上でそれらの受取・保管・返却作業を行うことにより、時間的および距離的な負担が軽減され、レポート提出・未提出の確認がリアルタイムで確認できます。受講者側においても、レポートが提出済みであるか否か、再提出になっていないなどの確認が容易にできます。また、個々の学生のレポート提出時刻等の履歴も残すことができます。

理解度確認(テスト・アンケート)

オンライン上に授業内容に関する確認テストやアンケートを作成すれば、授業後すぐに学生は自分の理解度を、教員はクラスの理解度を確認することができます。

コミュニケーション

ある授業の教員とその受講生にアクセスを限定したオンライン上の掲示板を利用すれば、そこでの質問の受付・回答、学生同士の意見交換ができます。



図2 学習管理システムでできることいろいろ

成績管理

レポートやテストの成績をオンライン上で管理することができます。オンライン上でやり取りした課題レポートやオンラインテストの結果だけでなく、オフラインで行ったテストの結果なども一緒に管理することができます。また、受講生各自にオンライン上で成績を開示することができます。

(図2)

学習管理システム利用の支援

学習管理システムの利用開始からシステムの各機能の利用方法については、総合情報基盤センターのサイト (<http://www.itc.u-toyama.ac.jp>) の「学習管理システム」に載せており (図3)、eメールや電話での質問も随時受け付けております。

そして、これらシステムを利用するための初心者向けおよび中級者向け講習会を定期的で開催しており、学部、学科、コース単位での出張講習も承っております。

また、PowerPoint や Word などで作成した資料や手書きなどのデジタル化されていない資料を PDF に変換するための支援サービスも行っておりますので、どうぞご利用ください。



図3 学習管理システムに関する Web ページ

参考文献

上木佐季子, 学習管理システムの紹介 –課題レポート管理機能–, 富山大学総合情報基盤センター広報 Vol.3, pp.21-24, 2006.
 上木佐季子, 学習管理システムの各種ツールの活用例, 富山大学総合情報基盤センター広報 Vol.6, pp.23-26, 2009.
 富山大学 eラーニングタスクチーム, eラーニングのすすめ, 2009.